

健康食品の制度化への障壁に関する研究
共同研究最終報告書

Report on Systemization of Health Foods in Japan

国立大学法人東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

**Dept. of Drug Policy and Management, Graduate School of Pharmaceutical Sciences,
The University of Tokyo**

**Association for Health Economics Research and Social Insurance and Welfare (ASIW),
Japan**

2013(平成 25)年 3 月 31 日

目 次

	page
I. 本報告書について	1
II. 研究の目的	1
III. 研究の方法と結果	2
IV. 考察	3
1. 2013年から見た健康食品	3
2. 包括的な制度の欠如	5
(1) 現在の枠組み	
(2) 制度化の障壁	
(3) 制度化の選択肢	
3. 有効性	10
(1) 健康食品の経緯	
(2) 世界レベルの評価基準から見た日本	
4. 安全性	15
(1) 健康への想いをどう守るか	
(2) 「食」の安全から健康食品を捉え直す	
5. 有効性・安全性の向上	21
(1) 向上へのアプローチ	
(2) 健康食品の輸出産業化	
(3) 逆襲のメイドインジャパン	
V. 結論	25
Appendix 1 ヒアリングの日時・トピック・対象者のリスト	27
Appendix 2 各ヒアリングの結果の概要	29
Appendix 3 各ヒアリング時のフォーマットによる回答	33

本冊子の一部または全部を問わず、無断引用、転載を禁ず

健康食品の制度化への障壁に関する研究
共同研究最終報告書

国立大学法人東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

Dept. of Drug Policy and Management, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The
University of Tokyo
Association for Health Economics Research and Social Insurance and Welfare (ASIW),
Japan

2013(平成 25)年 3 月 31日